

IFHOH プレスリリース（国際障害者デー、2014年12月3日）

世界の障害者 10 億人の 3 分の 1 を占める聴覚障害者の多くは、補聴器や補聴援助機器類、人工内耳のようなデバイスや字幕表示、さらには教育や労働、社会参加における様々なサポートの恩恵を受けることができます。

IFHOH（国際難聴者連盟）と 33 カ国の加盟組織は、CRPD（障害者の権利に関する条約）が、世界の全ての聴覚障害者に適用されることを認識しています。彼らは、自立や社会参加に必要な不可欠なハビリ支援を受ける権利を有します。

CRPD の目的は、障害をもつ全ての人々の人権と基本的自由の完全及び平等なる享受を推進、保護、かつ保障すること、そして彼らが生まれながらに持っている尊厳の尊重を促すことです。

CRPD 第 9 条（アクセシビリティ）は、障害を持つ人たちが、情報やコミュニケーションを含む様々な分野において、健常者と平等にアクセスする権利を述べています。難聴者が補聴器や補聴援助機器類、人工内耳のようなデバイスや字幕表示、さらには教育や労働、社会参加における様々なサポートの恩恵を受けるためには、情報やコミュニケーションへ容易にアクセスできることが必要不可欠です。現在、補聴器生産量が世界需要の 10% に満たないため、世界の多くの難聴者が効果的にコミュニケーションをとることができないのは明白です。

IFHOH は、全ての政府に難聴者のアクセスについて、各国内で生じている課題（現状）を調査するよう要請します。

IFHOH は、加盟組織や関連する組織に協力と情報交換の場を提供する国際的な非営利組織です。IFHOH や EFHOH（欧州難聴者連盟）は、聴覚障害問題の理解促進と難聴者のアクセス向上のために活動しています。IFHOH は、ハンブルグ管区裁判所の社団登記簿（Vereinsregister Amtsgericht Hambrug、ドイツ（Nr. 69 VR 10 527））に登録されており、国連経済社会理事会（ECOSOC）の特別顧問です。

お問い合わせ先

Ruth Warick, IFHOH President president@ifhoh.org

Louise Carrol, IFHOH Member-at-large with Human Rights Responsibilities
humanrights@ifhoh.org

（全難聴国際部訳）